

おかざきちゅうきち  
岡崎忠吉さん  
100歳おめでとうございます



5月10日、内池にお住まいの岡崎忠吉さんが100歳のお誕生日を迎えられました。町長をはじめ、関係者がお祝いに伺いましたところ、ご家族おそろいで出迎えてくださいました。

岡崎さんは、家の周辺の散歩を楽しまれ、新聞も眼鏡なしで読まれているそうです。

好きな食べ物は甘い物で、中でも若いころからチョコレートが好きだとおっしゃっていました。

岡崎さん、100歳おめでとうございます。お体を大切に、いつまでもお元気でいてください。

気軽に相談  
身近な人権擁護委員さん

人権擁護委員制度は、地域に根ざした活動を行っている民間の人たちが、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護していくことが望ましいという考えから設けられたものです。

現在、約14,000名の委員が全国の市区町村で、講演会や座談会を開催したり、法務局や特設人権相談所、自宅などで住民の皆さんの悩みごと等の相談を受けています。日野町の人権擁護委員さんは次の5名の方です。相談に関する秘密は厳守されます。

氏名	住所	電話番号
加藤 和幸	野出	53-0004
岸和田加代子	木津	52-2066
野口 定一	増田	52-3978
奥井 悦子	上迫	52-2797
安藤 貢子	西大路3区	52-2728

綿向雑感

日野町長 藤澤 直広

「平成の大合併」から10年、町長の職に就かせていただき10年になりました。「平成の大合併」で全国の市町村は約3,200から1,700になり、滋賀県も50市町村

決算は69億円にもなりました。こうした中で合併に賛成だった人も反対だった人も町を想い、まちづくりを力合わせていただき懸案の日野中学校が新築でき中学校給食も実施することができました。

が19市町になりました。当時、国や県から「合併しないとやっていけない」と強い圧力がありましたが、町民の皆さんの力で、こうして日野町が日野町として歩みを進めることができ、来年3月には、昭和30年の町村合併から60周年の記念式典を開催できることは有難いことです。

平成25年度の決算は99億円と日野町史上2番目の規模。国の経済対策に積極的に取り組んだことなどによるものですが、おかげさまで、桜谷小学校大規模改修、全幼稚園、小学校、中学校へのエアコン設置、農道舗装なども実施できました。今年度は、大谷公園グラウンドゴルフ場の拡張、保育所こばと園の改築、小学校3年生まで医療費助成の拡大(10月から)などを進めます。

平成16年度は「地方財政ショック」といわれ地方交付税が大幅に削減され、全国の自治体から「悲鳴」があがり、合併に駆り立てられたところもありました。予算編成担当の職員から「町長！7億円足りません！」といわれました。「合併しないと日野中学校は建設できない」という人もありました。そのため、徹底した行財政改革に取り組みました。日野町の予算規模は80億円程度ですが平成19年度

第5次日野町総合計画のめざす将来像は、「ひびきあい日野のたからを未来につなぐ、自治の力で輝くまち」。「自分たちのまちのことは自分たちで考え行動する」という自治の気概が根本にあります。これからも、「住民と行政」「住民と住民」の間の顔が見える関係をいかし、協働のまちづくりを進めたいと思います。ご支援とご協力をお願いします。